

キャリア

勤労観

中学校 高校

総合

学級活動

プロフェッショナル 仕事の流儀 48分

“就活”徹底応援SP

(2015年放送)

この番組の良さ



就活に臨む人への熱いエール

これから就活を始める学生にはさまざまな不安があるでしょう。「面接でどんな質問をされるのか」といった実際的な問題から、「なぜ働くのか」「自分に向いた仕事は何か」といった大きな問題まで、悩みはつきないものです。そんな学生に対して、就活のプロが丁寧に答えてくれます。

勤労観を考えるきっかけに

番組には、これまで『仕事の流儀』に登場したプロフェッショナルたちが登場します。その道を究めた彼らが語る言葉は、長年の苦心と豊かな経験に基づいており、とても説得力があります。「なぜ働くのか?」「天職とは?」「キャリアとは?」などこれから社会人になる生徒にとって、自分が生きていく上でのヒントがいっぱいです。

番組活用のポイント

見せるポイントを絞って

この番組は、面接の攻略法など就活を目前に控えた学生向けの内容と、社会人になる将来を見据えて働くことの意味を考える内容の2つから構成されています。どちらに焦点を当てて見せるかを考えた上で授業を計画しましょう。どの時期に見せるかで、生徒に考えさせたいポイントが変わってきます。

まずは自分を知る

人材採用支援のプロ森本千賀子さんは、就活で大切なことは、「自分を知る」「会社を知ること」の二つだと言います。自分を知るためによく行われるのが「自分史作り」です。森本さんはそれに、“気持ちの浮き沈みをあらかず線”を書き入れるよう提案しています。そうすることで、自分がどんなことに興味をもち、どんなことに喜びを感じるのかなどの傾向が見えるからです。また、友人や家族など周りが自分をどう評価するか調べることも大切だと森本さんは言います。番組視聴をきっかけにして、「自分史作り」など自分を知る活動に取り組ませるといいでしょう。グループで活動すれば、今まで気付かなかった自分の新たな一面を発見できるでしょう。

求められる人材とは?

会社が求める人材については、3人のプロフェッショナルがアドバイスをします。2人の経営者は採用したい人材について、1人のサラリーマンはともに働きたいと思う同僚について、自らの体験に基づいて語ります。彼らの言葉から、振る舞い、物事に取り組む姿勢など、若いうちに身に付けるべきことが浮かび上がってきます。また、「異なる文化と接する」など「学生時代にやっておくべきこと」も語られます。これを聞けば、学生生活を充実させることが、就活を成功させる大切なコツであることが理解できるでしょう。

学習展開例

対象校種：高校

授業時間 100分




向日市立勝山中学校
教頭 廣川伸一

執筆

働くことについてじっくり考えよう！ プロフェッショナルが語る仕事への思い

キャリア

時間配分	学習活動	教師の支援
15分	<p>① 小学生の頃なりたいたいと思っていた職業について交流する。</p> <p>② 現在なりたいたいと思っている職業を発表する。</p> <p>③ ①と②でどんな違いがあるか考える。</p> <p>④ 将来自分にぴったりの仕事に就くにはどうすればいいか、考えを述べる。</p>	<p>○小学生の頃は種類が少ない、今は現実的になっているなどの違いが考えられる。</p> <p>○違いが生まれる理由も考えさせる。</p> <p>○「就職のプロはどう考えていると思いますか？」と番組視聴につなげる。</p>
8分	<p>⑤ 番組を視聴する。</p>  <p>視聴 TV 自分史に浮き沈み曲線を書き込むと、自分の興味と傾向が見えてくる。(開始～4分51秒)</p>  <p>家族や友人から自分を評価してもらおうと、新しい自分が見つかる。(4分51秒～7分34秒)</p>	<p>○注目させたいポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就活で大切なのは「自分を知ること」「会社を知ること」の2つ ・気持ちの浮き沈みを書き込んだ自分史を作成 ・周囲からの評価と自分の評価のギャップに注目
27分	<p>⑥ 番組を参考に「自分史」を作る。</p> <p>⑦ 「自分史」に「浮き沈み曲線」を書き加える。</p>	<p>○書きやすいようシートを用意しておく。</p> <p>○浮き沈み曲線を書き込んで気付いた自分の特性について、文章にまとめさせる。</p>
10分	<p>⑧ 会社が求める人物象についてメモをとりながら番組を視聴する。</p>  <p>視聴 TV プロフェッショナルが語る“求められる人物象”と“学生時代にやっておくべきこと”。(7分34秒～17分59秒)</p>	<p>○番組視聴後、印象に残った言葉や人物について交流する。</p>
24分	<p>⑨ 番組の最後の部分を視聴して、働くことの意味について考える。</p>  <p>視聴 TV 苦しい日々を乗り越える心構え。(24分11秒～最後)</p>	<p>○注目させたい言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「常に自分で(チャンス)拾えるように準備しておく」(山本昌) ・「必ず誰かが見ている」(岡崎義和) ・「どんなときも失望しない」(井上真一) ・「“合わない”じゃなくて、自分が“合わせるんだ”」(小野次郎) <p>○苦労を重ねながらも、あきらめずに続けることで気付くこと、見えてくるものがあることを感じさせたい。</p>
16分	<p>⑩ 学習を通して考えた「働くことの意味」「自分の将来の仕事」について文章にまとめる。</p>	